

# 健康がまごおり21第2次計画中間評価報告書(概要版)

蒲郡市では、市民が健康でいきいきと暮らせるため、「健康がまごおり21第2次計画」を推進しています。本計画が、平成30年度に5年目の中間年度となったため、計画の中間評価を実施し、最終年度までの今後5年間において取り組むべき市民の健康づくりについてまとめました。

## 健康がまごおり21第2次計画とは

計画期間：平成26年度から令和5年度（10か年計画）

基本理念：地域で共に支え合い、生涯を通じて健康で幸せに暮らせるまち

- 計画の柱：
- 1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小（最終目標）
  - 2 生活習慣病の発症予防と重症化予防
  - 3 各分野別の健康づくり（食生活・運動・こころ・たばこ・飲酒・歯の健康）
  - 4 生涯を通じたすべてのライフステージにおける健康づくり
  - 5 地域社会で健康を支えあう環境の整備と健康資源の活用



## 中間評価の方法

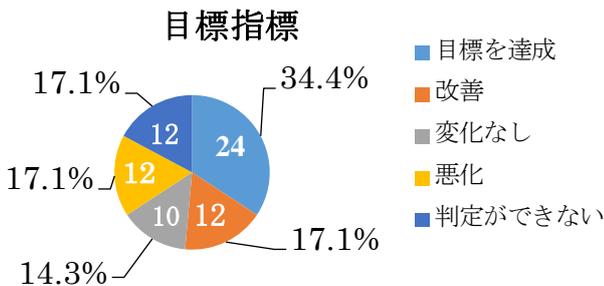
本計画で掲げた70の目標指標について、策定時の値（ベースライン）と平成30年度で把握できる直近値との数値を比較をし、達成状況を達成率(※)から判定しました。

$$\text{※達成率}(\%) = \frac{\text{直近値} - \text{策定時値}}{\text{目標値} - \text{策定時値}} \times 100$$

達成率によりA～Eの判定区分に分け評価をした

達成率	判定区分
100%以上	目標を達成
10%以上 100%未満	策定時より改善
-10%以上 10%未満	変化なし
-10%未満	策定時より悪化
判定ができない	判定ができない

## 各目標項目の達成度の評価



目標を達成した指標は70項目中24項目（34.4%）でした。達成できなかった項目（改善、変化なし、悪化）については、目標達成に向けて特に力をいれて取り組み、評価数値が比較できない等の理由から、判定できないとした指標12項目については、目標の修正や削除をしました。

<達成状況別の目標指標一覧（判定できない12指標を除く）>

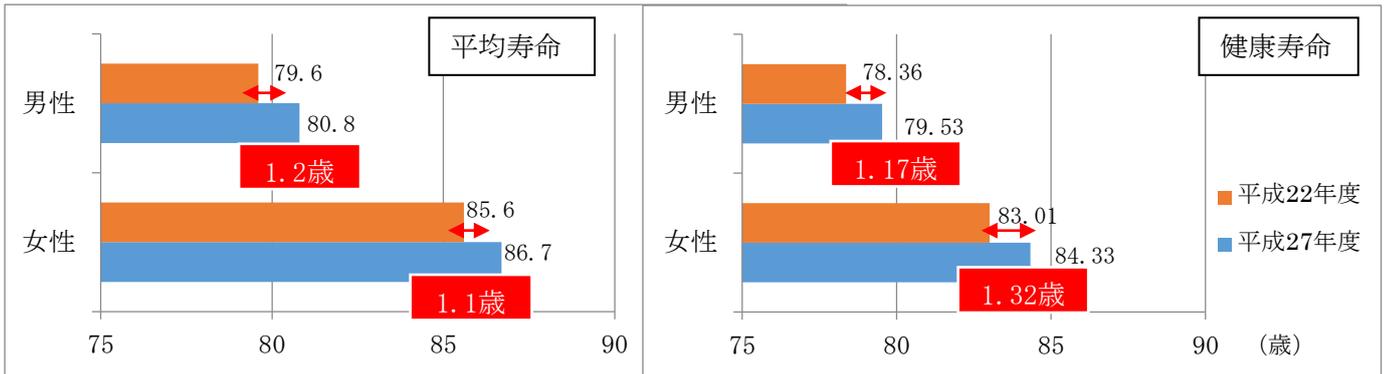
目標達成した指標	改善した指標	変化なしの指標	悪化した指標
健康寿命の延伸・健康意識の向上・日常生活が自立している者・男性の保健事業参加者食育推進協力店・運動習慣者、身体活動者・睡眠による休養が取れている者・喫煙者の減少・妊娠中の喫煙率・受動喫煙防止対策実施施設・妊娠中の飲酒者・要介護2以上認定率上昇の抑制	特定保健指導終了率・肥満傾向の小学生への保健指導人数・3歳児のう蝕のない者・フッ化物洗口実施小学校・食育推進協力店・食生活改善推進員の会員数	内臓脂肪症候群該当者・自殺者数・中学1年生の脂質検査異常者の保健指導実施人数・健康づくりいっしょにやろまい会員数	糖尿病治療率・ヤングエイジ健診受診者数・肥満者の割合朝食欠食者・20歳、40歳代の歯周病検診受診率・後期高齢者健診受診者数・依頼健康教室参加者数

# 計画の5つの柱の評価

## 1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小（最終目標）

蒲郡市の平均寿命の伸びと健康寿命の伸びを比較すると、女性では健康寿命の伸びが0.22歳平均寿命を上回り、男性は平均寿命の伸びが0.03歳健康寿命を上回りました(図1)。また、65～74歳の要介護2以上の割合は減少し、国民健康保険被保険者の特定健診の間診票からみた市民の健康に関する意識は、目標値を上回っています。計画の推進により、市民の健康への意識や日常生活を健康で過せる割合は上昇をしています。今後は、さらに健康寿命の延伸に向け、若いころから一人ひとりが自己の健康管理と健康づくりに取り組めるよう情報提供や地域や職域と連携して事業の推進を図るとともに、高齢者が介護予防のみならず、生活習慣病を予防できるよう、保健事業と介護予防を一体的に実施し、健康寿命の延伸を推進します。

図1 平均寿命・健康寿命の伸び



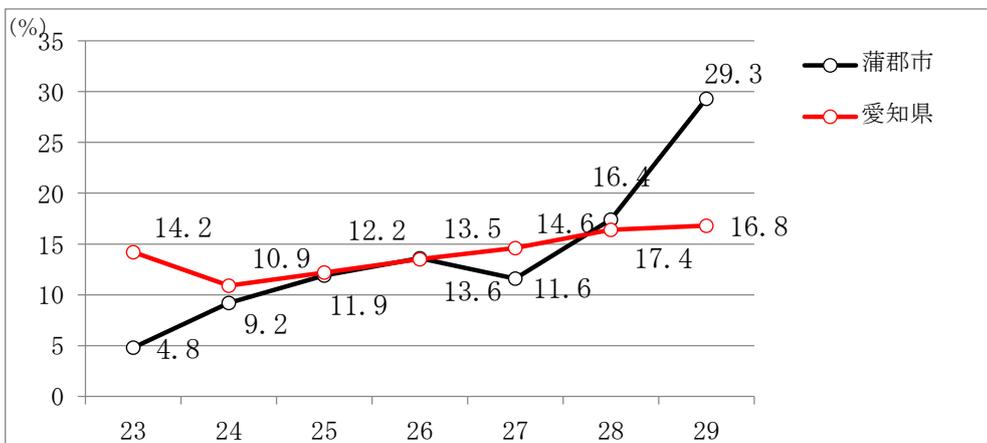
### 新規の指標

健康格差の縮小のための指標の追加  
朝食を欠食する子どもの減少、3歳児健診時のう歯数5本以上の児の減少、生活保護受給者の健康診査受診者数の増加

## 2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

国保特定健診、ヤングエイジ健診、がん検診の受診率やメタボリックシンドローム該当者については改善が見られませんでした。特定保健指導実施率は大幅に増加しました(図2)。特定保健指導の実施の効果により、メタボリックシンドローム該当者の減少、生活習慣病の発症予防と重症化予防を期待します。今後は、出張健診の実施や受診勧奨を強化して、特定健診・ヤングエイジ健診を受けていただくとともに、人工透析の原因である糖尿病や慢性腎臓病予防のため、医療機関と連携した生活習慣病予防を進めます。

図2 国保特定保健指導終了率 (愛知県国民健康保険 法定報告より)



### 新規の指標

HbA1c7.0%以上の割合の減少

### 修正した指標

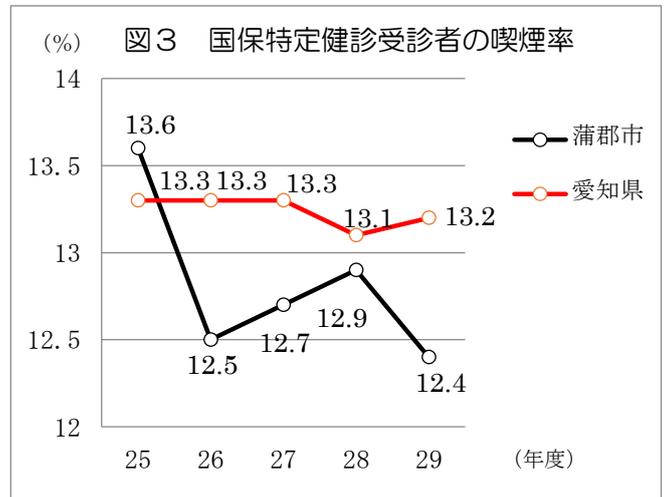
70歳未満のがん検診受診率の増加 (40歳～69歳)

### 3 各分野別の健康づくり（食生活・運動・こころ・たばこ・飲酒・歯の健康）

食生活では、食育推進協力店が計画策定時から10施設以上増加し、運動では、運動習慣者や身体活動者の割合が男女ともに増加したものの、肥満者の割合は、男女ともに増加しています。また、朝食を欠食する者の減少は3歳児健診での問診では悪化しています。今後はさらに食生活の改善と環境の整備、運動の推進により、肥満予防の取り組みの推進を図ります。

こころの健康では、睡眠による休養がとれている者の割合は男女ともに増加しているが、自殺者はやや増加しています。自殺防止対策については、蒲郡市自殺防止対策計画の中において、健康推進が果たす役割を重視し、協働で取り組みを進めます。

たばこについては、40歳以上の喫煙者（図3）、妊娠中の喫煙率、乳幼児健診時の問診票による子育て中の家庭における同居家族の喫煙者の割合はともに減少したが、母親の喫煙者の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて増加しています。また、受動喫煙防止対策実施施設は計画策定時から20施設以上増加しているが、今後は改正健康増進法を遵守し、望まない受動喫煙の防止と禁煙対策を進めます。飲酒では、妊娠中の飲酒者は減少しており、歯の健康においては、3歳児健診時のう蝕のない者、フッ化物洗口実施の小中学校は、増加していますが、若い年齢の歯周病健診受診率は減少しています。今後は適正飲酒の指導、歯科検診の受診の拡大に努力します。



（愛知県国民健康保険 法定報告より）

目標値を変更した指標	目標値に達成したため、または数値の変更 運動習慣者の割合、身体活動者の割合、睡眠により休養がとれている割合、子育て中の家庭における同居家族の喫煙者の割合の減少 3歳児健診時のう蝕のない者の増加
廃止する指標	受動喫煙防止対策実施施設数の増加（健康増進法改正のため）
新規の指標	生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の減少、40歳で喪失歯のない割合

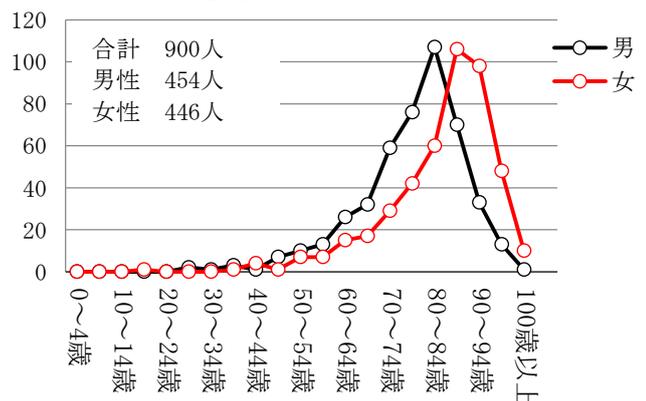
### 4 生涯を通じたすべてのライフステージにおける健康づくり

高齢者の健康づくりにおいては、後期高齢者の人口は増えているにもかかわらず、後期高齢者健診の受診率は低下しており、生活習慣病予防のための健診受診が必要です。介護保険では、要支援・要介護認定者は増加傾向にあるが、要介護2以上の認定率の上昇は抑制されています。年齢別の死亡者数をみると、男性は40～45歳、女性は45歳～50歳に立ち上がりがあります（図4）。ライフステージに合わせた疾病予防の取り組みを強化し、高齢者へは介護予防の取り組みと生活習慣病予防及び疾患の重症化予防のための保健事業の一体的実施を推進し、健康寿命の延伸と医療費適正化を図ります。

子どもの健康づくりにおいては、子どものころからの生活習慣病予防のため中学1年生の脂質異常者や肥満傾向にある小学生への保健指導やピロリ菌検査事業を実施しました。

今後は、学校と連携してがん教育に力を入れ、妊娠中から子育て期にわたり、切れ目のない子育て支援と健康管理を促進し健全な母子の健康を支えます。

（人） 図4 年齢別死亡者数（平成28年度）



（平成28年度政府統計人口動態調査より）

目標値を変更した指標	後期高齢者健診受診者の増加、中学1年生の脂質検査で異常者への保健指導人数の増加
廃止する指標	特定高齢者（基本チェックリスト）「うつ・閉じこもり」該当者上昇の抑制・「認知症予防」該当者上昇の抑制
新規の指標	BMI20以下の高齢者の割合（65歳～74歳）、友愛クラブ（老人クラブ）クラブ数・会員数

## 5 地域社会で健康を支えあう環境の整備と健康資源の活用

地域で健康づくりを推進する健康づくりいっしょにやろまい会の会員のうち、男性会員数は横ばい、65歳未満の会員数は微増し、食生活改善推進員の会員数は増加しているものの、ともに目標値を達成していません。また、地域から依頼される健康教育の参加者数は減少し、地区健康づくり会議は開催できていない状況です。職域では、協会けんぽや蒲郡商工会議所と協働で企業の健康県宣言を実施し、宣言事業所数は増加しています。今後は、健康づくりを地域で広げる推進員の育成を強化し、職域と連携して健康経営を視野に入れた取り組みの啓発と、体育課等関係各課や地域の関係機関と連携し、健康に意識が少ない若い世代への健康意識の向上と取り組みの推進を図ります。

廃止する指標	地区健康づくり会議の開催、健康応援企業数
新規の指標	健康マイレージまいかカードの発行数、健康宣言・Wチャレンジ宣言企業数

### 推進強化すべき対策

- 若い世代からの健康管理（健診・検診の受診、体重測定100日チャレンジ）
- 働く世代に対する健康づくりの実践支援（健康経営にかかる事業所支援・健康宣言）
- 生活習慣病予防及び重症化予防に対する個別支援の強化（糖尿病性腎症・慢性腎臓病予防）
- こころの健康についての支援・相談体制の整備、連携（睡眠月間、こころの体温計）
- 受動喫煙対策の強化（公共施設の受動喫煙防止、禁煙サポート、禁煙外来受診費用助成）
- 歯の健康づくりの推進（歯周病検診、障がい者（児）歯科検診）
- 高齢者の介護予防・保健事業・医療費対策についての一体化の推進
- 協働した健康づくり（食生活改善推進員、健康づくりいっしょにやろまい会、健康づくりリーダー）
- 切れ目のない子育て支援と母子の健康づくりの推進（子育て世代包括支援センター）
- 健康づくり実践の場の参加促進（運動サポートセンター、地域の健康づくりの場）

### 推進強化する保健事業

#### <糖尿病・慢性腎臓病対策>

- 糖尿病性腎症重症化予防プログラム
- 蒲郡腎臓病ネットワーク
- 食のサポート事業
- ハイリスク個別相談
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

#### <健康づくり対策>

- ワンコインがん検診、ヤングエイジ健診
- 歯科検診、歯の健康づくり事業
- 企業の健康宣言 W チャレンジ宣言
- 食生活改善推進員等と地域連携の推進
- 運動サポートセンター
- 学校と連携した子どもの健康づくり事業

#### 蒲郡市健康推進課(蒲郡市保健センター)

〒443-0036 蒲郡市浜町4番地 ☎ (0533) 67-1151  
FAX (0533) 67-9101

Eメール [hoken@city.gamagori.lg.jp](mailto:hoken@city.gamagori.lg.jp)  
ホームページ <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/hokencenter/>

